

wave CSR

携帯型デジタル簡易無線機

(総務省技術基準適合品)

無線局種別コード：3R (登録局)

HX575UJD281

取扱説明書

このたびは、デジタル簡易無線機HX575UJD281をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

お買い上げいただきました製品に、万一ご不審な点、お気付きの点などがありましたなら、なるべくお早めにお買い上げいただきました販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください

安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは保証書と一緒にいつでも取り出せる場所に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

 禁止	 ぬれ手 禁止	 水ぬれ 禁止	 分解 禁止
 注意	 感電 注意	 指示を 守る	

警告 (無線機について)

- 自動車などの運転中は無線機を操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。



- 当社指定の電池・充電器以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 無線機で使用する電池はオプションのリチウムイオン電池パック CBP501I および単3形電池用 CBT600 です。



- 無線機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電池は分解しないでください。電池を漏液・発熱・破裂させる原因となります。



- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに機器本体の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはCSRカスタマーサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、無線機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物が無線機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、無線機を落したり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



- 濡れた手で無線機に電池を取り付け・取り外ししないでください。感電の原因となります。



- 無線機は耐塵・防水基準のIP65/IP68 に準拠しています。水に濡れた場合は、水滴を早めに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。濡れたまま放置すると、性能や寿命を低下させたり、火災・感電・故障の原因となります。



- 無線機の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 端子に水滴のついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。



警告 (無線機について)

- 電池は火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどなどの原因となります。
- 電池の端子はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。電池を単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。



注意 (無線機について)

- この無線機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。
- 航空機内や病院などの使用を禁止された場所では、この機器の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。



注意 (リチウムイオン電池パックについて)

- 使用済みの電池は、お住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。



⚠️ お願い

- 通信は無線局免許状に記載されている目的・通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。
- 1回の送信時間は5分を越えないでください。
- 使用する前には、必ず無線機が正常動作するか、電源電圧などは正常か確認してください。無線機の故障による事故の責任は負いかねます。
- 通信可能範囲は地形および電波状況によって異なります。必ず通信可能範囲でご使用ください。通信不可能状態での事故の責任は負いかねます。



⚠️ 無線局登録が必要です

本機をお使いになる前に、総務省総合通信局への無線局登録申請が必要です。登録申請を行って、無線局登録状がお手元に届いてからご使用ください。

- 1台の無線機を申請される場合は「登録申請」、2台以上の無線機を一括してご購入されたか、将来増設されるご予定がある場合は「包括登録申請」を行ってください。
- 無線局開設後は、電波利用料の納付が必要となります。総務省からの納入告知書に従って、期限内に納付してください。

無線局の登録申請手続きや開設届をしていない、上空で使用する、指定以外のアンテナを使うといった行為は不法無線局の開設となり、1年以下の懲役または100万円以下の罰金に処せられますのでご注意ください。

- デジタル簡易無線登録局は、日本国内の陸上と周辺海域での通信に利用できます。上空で運用すると違法運用となります。
- アンテナは指定のものをお使いください。指定以外のアンテナを使用すると違法運用となります。指定アンテナは、株式会社CSRのホームページをご参照ください。

本製品は米国DVSI社の開発したAMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、AMBE+2™に対応しています。

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form. This software is licensed solely for use within this product. US Patent Nos. #8,359,197, #8,200,497, #6,912,495, #6,199,037, #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,715,365, #5,701,390, #5,649,050, #5,630,011, and #5,517,511.

本書に記載されている会社名、システム名、製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

安全上のご注意	ii	その他の設定	42
絵表示について	ii	キーロックの設定方法	42
モデル概要	2	通話内容の録音（ボイス録音）	42
本機の特長	3	UC（ユーザーコード）の設定	43
機器の構成	3	秘話機能のオン・オフ設定	44
各部の名称	4	設定の初期化	45
各部の機能説明	5	本体定格	46
基本操作方法	9	故障とお考えになる前に	47
ベルトクリップ取り付け	9	保証・アフターサービス	48
準備	10	修理を依頼されるときは	49
受信動作	11		
送信動作	13		
閉局	14		
通話方法	15		
個別通話	15		
個別通話機能での送信	19		
個別通話機能での受信	22		
エマージェンシー機能	23		
スキャン機能	25		
不在着信機能	26		
設定の変更方法	27		
設定手順の基本	27		
呼出設定モード	31		
機能設定モード	35		
セット管理番号の確認	38		
通常運用での機能呼出	39		

モデル概要

- 本機HX575UJD281は携帯型デジタル簡易無線機 登録局 (3R) です。
- 「3R」の表示があるデジタル簡易無線機であれば、他のメーカーのデジタル簡易無線機とも通話が可能です。
- ビジネス、レンタル、レジャーと多彩なシーンで、5Wのハイパワーを生かして広範囲な通話が可能です。
- デジタル簡易無線の登録局は、下表のように分類されています。

種別	ARIB 種別コード	周波数	チャンネル数	使用範囲
登録局	3R	351MHz	30	全国の陸上及び日本周辺海域
登録局 (上空) 利用	3S		5	全国の陸上及び日本周辺海域並びにそれらの上空

本機は種別コード「3R」の「登録局」として開発されたもので、スカイスports等、上空でのご利用はできません。

本機のチャンネル構成 (ARIB 無線設備の種別コード「3R」)

◎ チャンネル構成

「CH01」～「CH30」のチャンネルが利用可能です。

◎ コールチャンネル

「CH15」は、「コールチャンネル」に設定されています。

コールチャンネルでは、ユーザーコードは自動的に「000」に設定され、秘話通信は自動的に解除されますので、ARIB 規格で定めている「呼出用チャンネル」として、ご利用いただけます。

なお、コールチャンネルは、一時的な呼び出しのみに使用し、継続的な通話は他のチャンネルで行うようにしてください。ユーザーコードおよび秘話通信の設定はコールチャンネルを除く他のチャンネルでのみ有効となります。

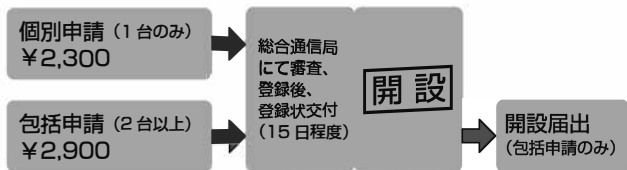
◎ 上空チャンネルモニター

上空チャンネル (1～5チャンネル) をモニターすることができます (送信することではできません)。

- デジタル簡易無線機登録局は資格不要で、簡単な登録申請手続きをするだけで、誰でもご使用になれます。

登録申請方法は株式会社CSRのホームページをご参照ください。

登録申請の流れ



※申請料は、2017年8月現在

本機の特長

- HX575UJD281 は業務用として開発された携帯用デジタル簡易無線機です。
- シャーシは強度と軽さを重視した、アルミダイキャストによる堅牢構造です。
- 耐塵・防水基準のIP65/IP68*に準拠した防水構造により、風雨にさらされるフィールドでも安心して使用できます。
※ IP65は粉塵が内部に侵入せず、水の直接噴流に対する保護等級です。
IP68は粉塵が内部に侵入せず、連続的な水没(1m24時間)に対応する保護等級です。イヤホンジャックカバー、バッテリー、アンテナ未装着でも適応されます。
- 表示部には、大型の液晶表示を使用し、全角6文字、半角英数字12文字によるタグ表示により視認性の向上が図られています。

機器の構成

■ 付属品

ご使用前に下記の付属品がそろっているか確認してください。

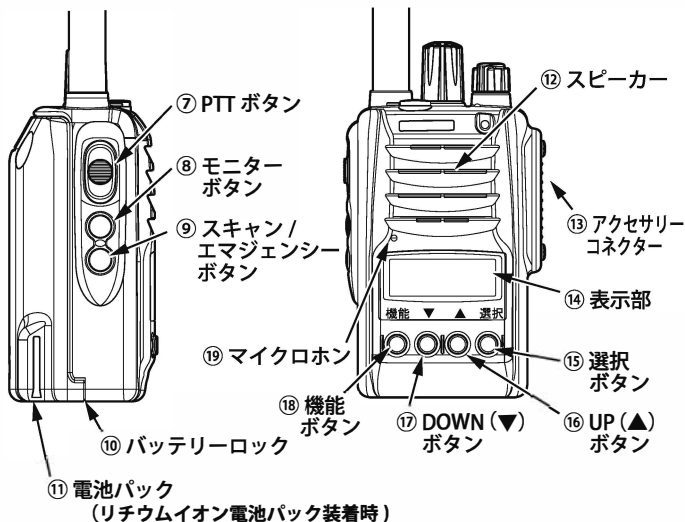
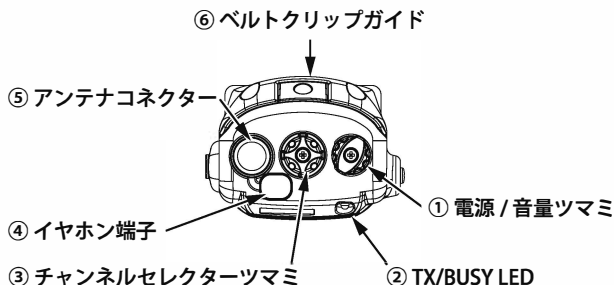
● 無線機本体	1
● ヘリカルアンテナ	1
● 標準リチウムイオン電池パック (CBP501LI)	1
● 急速充電器 (CG800JA) ※別添品	1
● ベルトクリップ (BH800)	1
● 取扱説明書 (本書)	1
● 保証書	1

■ オプション

● リチウムイオン電池パック：	CBP501LI
● 単3形乾電池ケース(6本)：	CBT600
● 急速充電器：	CG800JA
● 6連急速充電器：	CSB800
● マイク&スピーカー	MP800JA
● タイピン型イヤホンマイク：	CTM600
● イヤホン：	EP850
● ベルトクリップ：	BH800
● 金属製ベルトクリップ：	BH801
● キャリングケース：	CLC595

各部の名称

上部部 (リチウムイオン電池パック装着時)



各部の機能説明

① 電源/音量ツマミ

このツマミは、電源の入・切と音量の調整を行います。

右（時計方向）に回すと電源が入り、さらに右に回すと音量が大きくなります。

左（反時計方向）に回すと音量が小さくなり、左に回しきると電源が切れます。

② TX/BUSY LED

LED 点灯状態により本機の状態を知らせます。

緑色点灯	ユーザーコード通話受信時、他局通話受信時
赤色点灯	ユーザーコード通話送信時、個別通話送信時
赤色点滅	個別通話応答待ち（発呼局）、電池パック消耗時
緑色点灯	個別通話受信時（被呼局）
緑色点滅	個別通話応答待ち（被呼局）
青色点灯	秘話送信時、秘話受信時
青色点滅	秘話個別通話応答待ち
白色点滅	エマージェンシー起動時、エマージェンシー受信時

③ チャンネルセレクトーツマミ

このツマミを回して、使用したいチャンネルを選択します。

設定モードで、このツマミを回して数値の桁等の変更をおこなうことができます。

④ イヤホン端子

この端子に専用イヤホンを挿すと、イヤホンを使用できます。その際、スピーカーからの音は出なくなります。

⑤ アンテナコネクタ（SMA タイプ）

付属のヘリカルアンテナを接続します。

⑥ ベルトクリップガイド

オプションのベルトクリップを装着することができます。

⑦ PTT ボタン

送信を開始する場合には、このボタンを押します。このボタンを押している間、TX/BUSY LED は赤色に点灯しています。

⑧ モニターボタン

このボタンを押すとモニター機能になります。モニター機能にて音量を確認することができます。また、このボタンを長押しすると通話内容の録音を開始します。通話が終了すると録音が停止します。

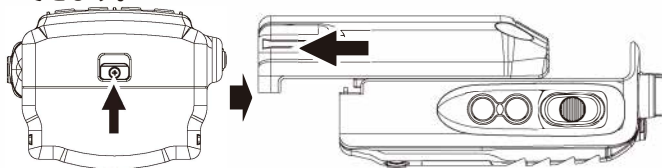
⑨ スキャン/エマージェンシーボタン

このボタンを押すとスキャン機能が動作します。再度、このボタンを押すとスキャン機能が停止します。また、このボタンを長押しするとエマージェンシーモード動作になります。

⑩ バッテリーロック

電池パックのロック機構で、本機から電池パックを取り外す時に使用します。

取り外す場合は、本機の電源を切ってから、バッテリーロックレバーを上方（本機前面方向）へスライドします。その状態で電池パックを本機下側へスライドさせることで取り外すことができます。



⑪ 電池パック

本機にDC 電源 (+7.4V) を供給します。

● リチウムイオン電池パックについて

希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になったリチウムイオン電池は廃棄せず、リチウムイオン電池リサイクル協力店へご持参ください。



⑫ スピーカー

受信音声やビープ音等が出力されます。

⑬ アクセサリーコネクタ

オプションのマイク&スピーカーなどを接続する端子です。

⑭ 表示部

本機の状態やタグを表示します。詳細は「表示部」をご覧ください。

⑮ 選択ボタン

このボタンを押すと呼び出し選択モードになります。また、設定モードで、このボタンを押すと設定内容・数値の決定、項目の変更をおこなうことができます。

⑯ UP (▲) ボタン

チャンネルをアップさせます。

設定モードで、このボタンを押すと設定内容の切り替え・数値の変更をおこなうことができます。

⑰ DOWN (▼) ボタン

チャンネルをダウンさせます。

このボタンを長押しすると、キーロックの設定・解除になります。設定モードで、このボタンを押すと設定内容の切り替え・数値の変更をおこなうことができます。

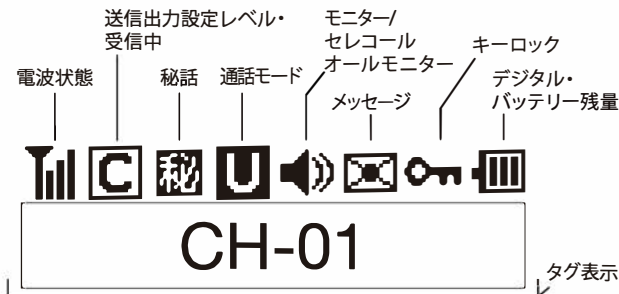
⑱ 機能ボタン

このボタンを押すと機能呼び出しモードになります。また、このボタンを押しながら、電源を入れると設定モード(呼出設定・機能設定・セット管理番号)になります。設定モードで、このボタンを押すとモードの変更をおこなうことができます。

⑲ マイクホン

PTT ボタンを押しながら、この部分に向かって会話をします。

■ 表示部

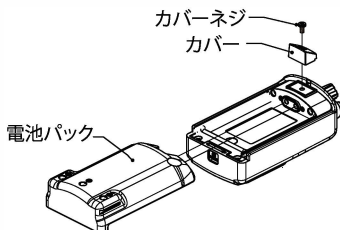


表示の名称	表示の意味と動作
電波状態	受信信号強度を4段階で表示します。
送信出力設定レベル 受信中	送信出力設定レベルをH/Lの2段階で表示します。 受信時は接続中にCが表示されます。
秘話	秘話通話設定中に表示されます。
通話モード	通話モードを表示します。 U：ユーザーコード通話 個：個別通話で個別呼び出し時に表示 G：個別通話でグループ呼び出し時に表示 全：個別通話で一斉呼び時に表示
モニター/ セレコールオール モニター	🔊：モニター機能設定時に表示します。 📞：セレコールオールモニター機能設定時に表示します。
メッセージ	ショートメッセージを受信時に表示します。
キーロック	キーロック中に表示します。
デジタル バッテリー残量	電源を入ると1秒間チャンネルがデジタルであることを表示します。 📶：デジタルチャンネル バッテリー残量を4段階で表示します。 🔋→🔋→🔋→🔋 バッテリー残量が点滅したら、速やかに充電してください。
タグ表示	全角6文字、半角英数字12文字まで表示されます。 タグ表示を設定していない場合は、チャンネル番号"CH-01"を表示します。 タグ表示の設定は、設定ソフトを使用します。

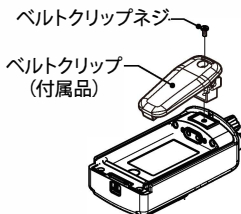
基本操作方法

ベルトクリップ取り付け

- ① 電池パックおよびカバーを取り外します。



- ② ベルトクリップは必ず付属のベルトクリップネジ (M3 ワッシャー付きネジ) でしっかり固定します。



⚠ 注意

- ベルトクリップの取り付けには、必ず付属の M3 ワッシャー付きネジを使ってください。他のネジは使わないでください。
- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。
ネジが緩んだまま使用すると破損、故障の原因となります。
- ネジが傾いていないことを確認してください。
ネジが傾いたまま使用すると破損、故障の原因となります。

⚠ 注意

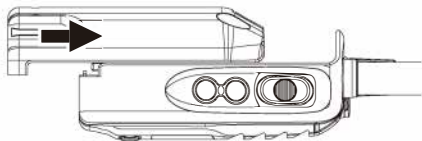
- 電池パックを取り付けたままベルトクリップの取り付け作業を行わないでください。電池パックを取り付けたままベルトクリップの取り付け作業を行うと、ネジを締める作業がしずらく、ネジの緩みや傾きの原因となりますので、必ず電池パックを取り外してからベルトクリップの取り付け作業を行ってください。

電池パック
を取り外す

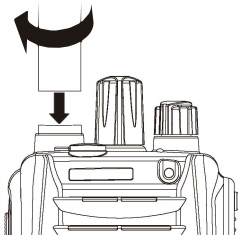


準備

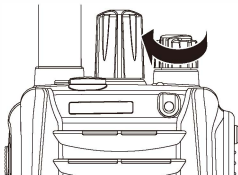
- ① 本機に電池パックを接続します。



- ② 本機に付属のヘリカルアンテナを接続します。

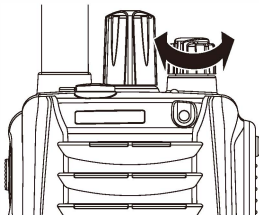


- ③ 電源/音量ツマミを右（時計方向）に回して本機の電源を入れます。



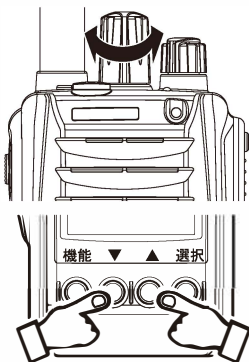
受信動作

- ① 「準備」の手順を行います。
- ② 電源/音量ツマミで音量を設定します。



●電源/音量ツマミを右（時計方向）に半分くらい回し、モニターボタンを押して、その音を使って音量を調節してください。

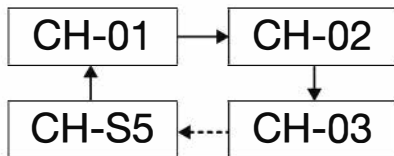
- ③ チャンネルセレクトーツマミまたはUP(▲)/DOWN(▼)ボタンでチャンネルを選択します。



チャンネルセレクトーツマミを右（時計方向）に回す、またはUP(▲)ボタンを押すとチャンネルがアップします。

チャンネルセレクトーツマミを左（反時計方向）に回す、またはDOWN(▼)ボタンを押すとチャンネルがダウンします。

(例：35チャンネル)



※チャンネル数

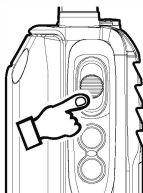
30+5 (上空) チャンネル

- ④ 信号を受信した時に、スピーカーからは相手の音声が聞こえます。

送信動作

①「受信動作」の手順①～③までを行います。

② **PTT ボタン**を押します。



- 送信中は**TX/BUSY LED** が赤色に点灯します。

- **PTT ボタン**を押し続け、**マイクロホン**に向かって話します。

③ **マイクロホン**に向かってゆっくり、はっきりと話します。

- **マイクロホン**と口は約 5 cm 程度離してください。

④ 通話が終わったら、直ちに**PTT ボタン**を離します。

- **TX/BUSY LED** が消灯し、待ち受け状態になります。

閉局

- ① 送信が終わり、閉局する場合は、その旨を相手局に伝えてから、**電源/音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し切って電源を切ります。

⚠ 注意

- アンテナを装着しない状態では、送信しないでください。本機が故障する原因となることがあります。
- 電池パックの充電中は、本機の操作をしないでください。充電器が誤動作をするおそれがあります。
- 電池パックの接続端子部は、きれいにしてお使いください。
- 充電器は専用充電器をご使用ください。他の充電器を使用した場合、電池パックが故障する原因となることがあります。
- 温度が高い場所で、電池パックを保管すると、電池パックの自己放電が多くなります。電池パックは冷暗所で保管してください。

通話方法

個別通話

個別通話の前には、あらかじめ呼出設定モードで自局の個別番号、グループ番号を設定しておきます。

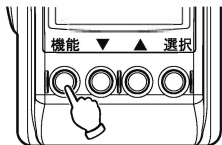
- 個別番号は0001～9999の設定が可能です。
- グループ番号は01～99の設定が可能です。

通話には次の3種類があります。

- 個別通話：1:1で通話します。
- グループ通話：同じグループに設定されている者同士が通話します。
- 一斉通話：全員と連絡ができます。

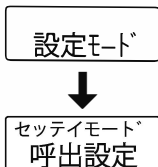
■ UC通話から個別通話への切り替え

- ① **機能ボタン**を押したまま、**電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れます。



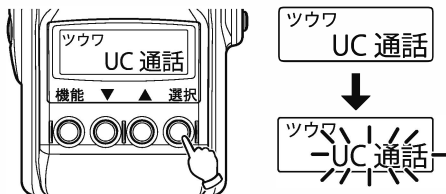
- 「設定モード」が表示されるまで、**機能ボタン**を押し続けてください。
- 「設定モード」が表示される前に、**機能ボタン**を離すと通常の起動となります。

- ② 「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。



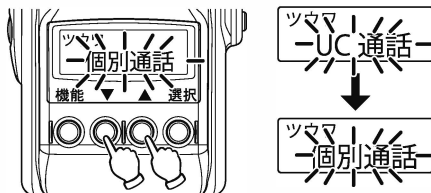
- **機能ボタン**を離すと、「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。

③ 選択ボタンを押します。

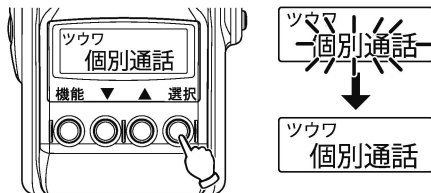


●選択ボタンを押した時に、「UC通話」が点滅します。

④ UP (▲) または DOWN (▼) ボタンを押して、「個別通話」を選択します。



⑤ 選択ボタンを押して、「個別通話」を決定します。

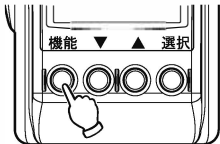


●「個別通話」が点滅から点灯に変わります。

⑥ 電源/音量ツマミを左(反時計方向)に回し電源を切り、再度電源/音量ツマミを右(時計方向)に回し電源を入れます。

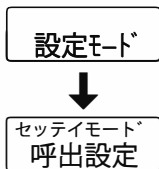
■ 個別通話からUC通話への切り替え

- ① **機能ボタン**を押したまま、**電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れます。



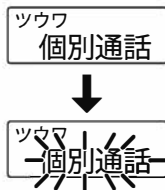
●「設定モード」が表示されるまで、**機能ボタン**を押し続けてください。

- ② 「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。



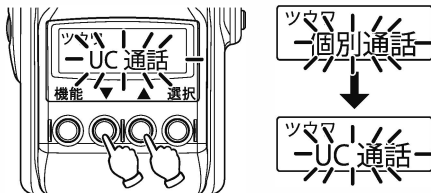
●**機能ボタン**を離すと、「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。

- ③ **選択ボタン**を押します。

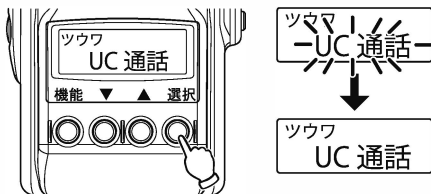


●**選択ボタン**を押した時に、「個別通話」が点滅します。

- ④ **UP (▲) または DOWN (▼) ボタンを押して、「UC 通話」を選択します。**



- ⑤ **選択ボタンを押して、「UC 通話」を決定します。**

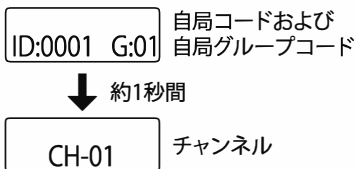


●「UC 通話」が点滅から点灯に変わります。

- ⑥ **電源/ 音量ツマミを左 (反時計方向) に回し電源を切り、再度電源/ 音量ツマミを右 (時計方向) に回し電源を入れます。**

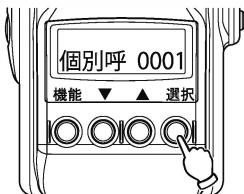
個別通話機能での送信

- ① 電源/音量ツマミを右(時計方向)に回し電源を入れます。

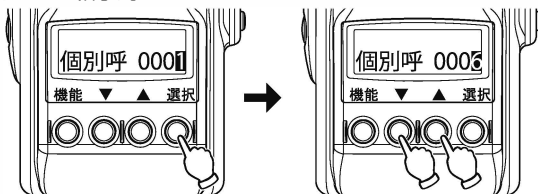


- 自局コードおよび自局グループコードが約1秒間表示されます。その後チャンネルが表示されます。

- ② 選択ボタンを押します。



- ③ 再度**選択ボタン**を押し、**UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して、発呼したい相手局コードに合わせます。

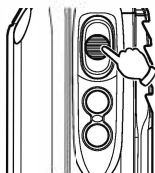


- チャンネルセレクターツマミを回して、相手局コードの桁を移動できます。
- ここでの手順で、呼出方法も変更できます。「呼出方法の変更」をご覧ください。

- ④ **選択ボタン**を押し相手局のコードを決定します。



- ⑤ **PTTボタン**を押します。



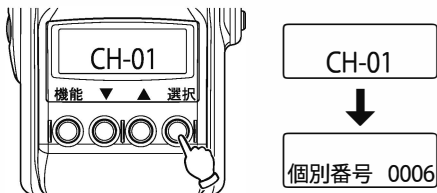
個別呼 0006

- ⑥ 相手が出ましたら、マイクロホンに向かって話します。

■ 呼出方法の変更

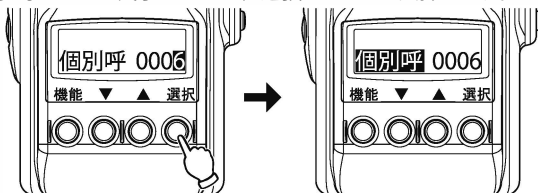
① 電源/音量ツマミを右(時計方向)に回し電源を入れます。

② チャンネルが表示されたら、**選択ボタン**を押します。

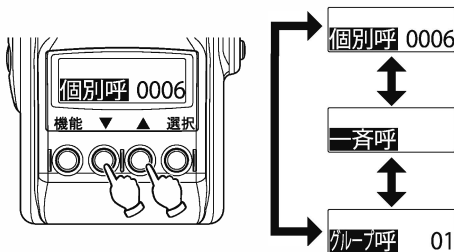


● 自局コードおよび自局グループコードが約1秒間表示されます。その後チャンネルが表示されます。

③ 相手局コードが表示されたら、**選択ボタン**を2回押します。



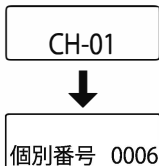
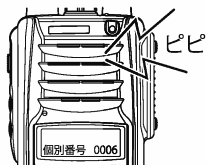
④ UP (▲) または DOWN (▼) ボタンを押して、呼出方法を選択します。



⑤ **選択ボタン**を押して呼出方法を決定します。

個別通話機能での受信

- ① 呼び出されたことを示す「ピピ」音を確認します。



- 呼び出されると発呼元のコードが表示されます。次のように、発呼元のコードは個別呼出し、グループ呼出し、または一斉呼出しで表示されます。

個別呼出し

個別番号 0001

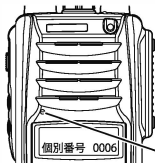
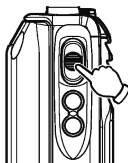
グループ呼出し

グループ番号 01

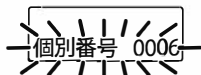
一斉呼出し

一斉呼

- ② PTTボタンを押して、マイクロホンに向かって話します。



- 応答できなかった場合は、発呼元のコードが点滅し、不在着信状態になります。



エマジェンシー機能

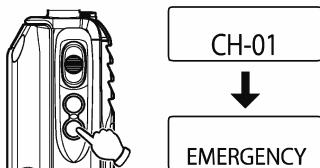
エマジェンシー機能は、エマジェンシーコードの送受信を行い、次のいずれかの方式で、他の人からの非常事態を知らせます。

- 大きな音でブザーを鳴らす
- 同一グループ内で緊急コードの送受信を行う
- 大きな音でブザーを鳴らしたうえ、同一グループ内で緊急コードの送受信を行う

※エマジェンシー機能を使うには、呼出設定モードであらかじめ設定しておく必要があります。

■ エマジェンシーコードの送信

- ① 表示部に「EMERGENCY」が表示されるまで、**スキャン/エマジェンシーボタン**を押し続けます（約2秒間）。



- あらかじめ設定したエマジェンシー機能の動作を行います。
- エマジェンシーコードを送信すると、本機は受信および送信ができなくなります。

- ② **スキャン/エマジェンシーボタン**を離します。
- ③ 通常の操作に戻るには、**スキャン/エマジェンシーボタン**を2秒以上押します。

■ エマージェンシーコードの受信

- ① エマージェンシーコードを受信すると、発呼元の個別コード（一斉/個別番号/グループ番号）と「EMERGENCY」が表示されることを確認します。
 - エマージェンシーコードを受信すると、本機は受信および送信ができなくなります。
- ② 受信側が通常の操作に戻るには、次のいずれかを押して、エマージェンシー機能を解除します。
 - ・ 本機の**機能ボタン**または**選択ボタン**、**UP (▲) ボタン**、**DOWN (▼) ボタン**、**モニターボタン**、**スキャン/エマージェンシーボタン**
 - 送信側がエマージェンシー機能を解除していない場合、再度エマージェンシーコードを受信します。

▲ 注 意

- エマージェンシーコードを受信すると、本機は受信および送信ができなくなります。また、エマージェンシーコードを送信しても、本機は受信および送信ができなくなります。
- 送信側は通常の通信を行うには、**スキャン/エマージェンシーボタン**を長押し（約2秒間）して、エマージェンシー機能を解除してください。
- 送信側がエマージェンシー機能を解除していない場合、受信側は通話することができません。（最大約5分間）
- 受信したエマージェンシーコードは、本機には記憶されません。エマージェンシー機能を解除する前に、メモなどを取ることをお勧めします。

スキャン機能

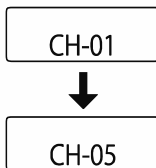
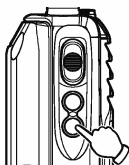
スキャン機能は、スキャン有効を設定したチャンネルを順番にスキャンし、信号を入感したチャンネルを自動的に受信できます。

アドバイス

- スキャン機能は、UC通話での使用が可能です。
- スキャン機能は、個別通話では使用できません。
- スキャン機能を使うには、機能設定モードであらかじめ設定しておく必要があります。

■ スキャン動作

- ① **スキャン/エマージェンシーボタン**を押します。
 - あらかじめ設定したスキャン動作を行います。



- ② スキャン動作を停止するには、再度**スキャン/エマージェンシーボタン**を押します。

不在着信機能

他局からの個別呼出しに応答できなかった場合、不在着信機能が働きます。不在着信機能は、次のような働きをします。

- 呼び出した発呼元の個別コードを表示
- 新しい不在着信があると、古い不在着信は消去されます。
- 一斉呼出しまたはグループ呼び出しで呼ばれた場合は、不在着信機能は動作しません。

※電源を切ると、不在着信は消去されます。

- ① 不在着信があったことを示す発呼元の個別コードが点滅していることを確認します。



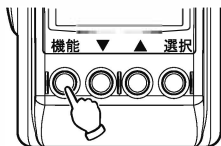
- ② **PTT ボタン**を押して応答します。
- ③ チャンネル表示に戻るには、**機能ボタン**を押します。

設定の変更方法

設定手順の基本

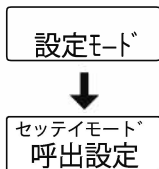
■ 設定モードの選択方法

- ① **機能ボタン**を押したまま、**電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れます。



- 「設定モード」が表示されるまで、**機能ボタン**を押し続けてください。
- 「設定モード」が表示される前に、**機能ボタン**を離すと、通常の起動となります。

- ② 「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。



- 「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。

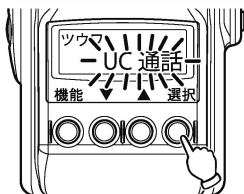
- ③ 設定モードを切り替えるには、**機能ボタン**を押します。



- **機能ボタン**を押すたびに、設定モードは以下のように切り替わられます。



- ④ 選択した設定モードを決定するには、**選択ボタン**を押します。

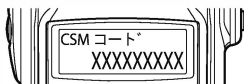


(呼出設定で**選択ボタン**を押した場合)

- 各設定モードの最初の項目が表示されます。



(機能設定で**選択ボタン**を押した場合)



(セット管理番号で**選択ボタン**を押した場合)

■ 設定項目の選択・設定方法

- ① 「設定モードの選択方法」を行い、設定モードを決定する



●各設定モードの最初の項目が表示されます。

- ② **選択ボタン**を押し、**UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して、項目を選択します。



- ③ 選択した項目を決定するには、**選択ボタン**を押します。



●変更する項目が点滅します。

- ④ **UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して、項目の設定値または設定内容を変更します。また、**チャンネルセレクトーツマミ**を回して桁移動などを行います。



●変更する項目は点滅のままです。



- ⑤ 変更した内容を決定するには、**選択ボタン**を押します。



●ピッピッと音が鳴って変更が決定されます。

- ⑥ 他の項目を選択するには、手順②から同様の操作を行います

- ⑦ 設定を終了するには、**電源/音量ツマミ**を左 (反時計方向) に回し電源を切ります。



呼出設定モード

■ 呼出モードの設定方法

- ① **機能ボタン**を押したまま、**電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れ、「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。
●「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。
- ② **選択ボタン**を押します。
●「ツウワ UC通話」または「ツウワ 個別通話」が点滅表示されます。
- ③ **選択ボタン**を押します。
- ④ **UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して項目を選択し、**選択ボタン**を押して決定します。
- ⑤ 以下の項目の設定値または設定内容を **UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して項目を選択し、**選択ボタン**を押して決定します。

※設定モードの選択方法の詳細は、「設定モードの選択方法」をご覧ください。

設定項目の選択・設定方法の詳細は、「設定項目の選択・設定方法」をご覧ください。

選択項目および表示例	選択内容	初期値
通話方式 ツウワ <div>UC通話</div>	UC通話と個別通話 (選択ボタン を押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● UC (ユーザーコード) 通話 同じチャンネル、UC (ユーザーコード) を設定している相手局と通話ができる方式です。 ● 個別通話 同じチャンネル、UC (ユーザーコード) を設定している特定の相手局やグループのみを呼び出して通話できる方式です。	UC通話

選択項目および表示例	選択内容	初期値
UC (ユーザーコード) 通話方式 <div>UC ツウワ</div> <div>チャンネル共通</div>	チャンネル共通とチャンネル別 (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● チャンネル共通 全てのチャンネルでUC (ユーザーコード) を 共通にします。 ● チャンネル別 各チャンネルごとにUC (ユーザーコード) を 設定します。	チャンネル共通
UC (ユーザーコード) 通話コード <div>UC ツウワ</div> <div>ユーザーコード 000</div>	000と001 ... 510と511 (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1つつ増減、 チャンネルセレクトーツマミ で桁移動、 選択ボタン で決定) ● 設定できるユーザーコードは511までです。 ● 設定できないコード番号を選択しても「ブツ」音がして設定できません。	000
自局ID個別番号 <div>ジキョクID</div> <div>個別番号 0001</div>	0001と0002 ... 9998と9999 (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1つつ増減、 チャンネルセレクトーツマミ で桁移動、 選択ボタン で決定) ● 設定できる自局ID個別番号は9999までです。 ● 0000は、自局ID個別番号に設定できません。	0001
自局IDグループ番号 <div>ジキョクID</div> <div>グループ番号 01</div>	01と02 ... 98と99 (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1つつ増減、 チャンネルセレクトーツマミ で桁移動、 選択ボタン で決定) ● 設定できる自局IDグループ番号は99までです。 ● 00は、自局IDグループ番号に設定できません。	01

選択項目および表示例	選択内容	初期値
秘話設定 <div>ヒワ</div> <div>チャンネル共通</div>	チャンネル共通⇄チャンネル別 (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) <ul style="list-style-type: none"> ● 設定した秘話鍵が一致する相手局のみ交信できる機能です。 ● 秘話機能を使用する場合、秘話鍵の設定および秘話機能をオンにする必要があります。 ● チャンネル共通 全てのチャンネルで秘話鍵を共通にします。 ● チャンネル別 各チャンネルごとに秘話鍵を設定します。 	チャンネル共通
秘話鍵 <div>ヒワ</div> <div>秘 話 鍵 00001</div>	00001⇄00002… 32766⇄32767 (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1づつ増減、 チャンネルセレクトーツマミ で桁移動、 選択ボタン で決定) <ul style="list-style-type: none"> ● 設定できる秘話鍵は32767までです。 ● 設定できない鍵番号を選択しても「ブツ」音がして設定できません。 ● 00000は、秘話鍵に設定できません。 	00001
UC通話着信ビープ <div>ツウワビープ</div> <div>UC 通 話 0 回</div>	0回⇄1回⇄2回⇄ (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) <ul style="list-style-type: none"> ● 着信時のビープ音の回数を設定します。 	0回
個別通話着信ビープ <div>ツウワビープ</div> <div>個 別 通 話 1 回</div>	1回⇄2回⇄0回⇄ (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) <ul style="list-style-type: none"> ● 着信時のビープ音の回数を設定します。 	1回
グループ通話着信ビープ <div>ツウワビープ</div> <div>グループ通話 1 回</div>	1回⇄2回⇄0回⇄ (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) <ul style="list-style-type: none"> ● 着信時のビープ音の回数を設定します。 	1回

選択項目および表示例	選択内容	初期値
一斉通話着信ビープ ツウワビープ 一 斉 通 話 1 回	1 回↔2 回↔0 回↔ (選択ボタン を押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 着信時のビープ音の回数を設定します。	1 回
不在着信ビープ ツウワビープ 不 在 着 信 5 秒	5 秒↔20 秒↔連続↔OFF↔ (選択ボタン を押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 不在着信時のビープ鳴動時間を設定します。	5 秒
エマージェンシーモード エマージェンシー モード ビープ	OFF↔ビープ/ソウシン↔ソウシン↔ビープ↔ (選択ボタン を押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 緊急ビープ機能の動作を設定することができます。 ビープ：緊急ビープ音が鳴動します。 ソウシン：自局 ID を含んだ緊急信号を送信します。 ※ UC 通話設定時は、無変調で送信します。 (緊急信号含まず) ビープ/ソウシン：上記2つの動作を行います。	ビープ
エマージェンシー宛先 エマージェンシー 宛 先 一 斉	一斉↔個別↔グループ↔ (選択ボタン を押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 緊急信号の送信先を選択します。	一斉

- [] の項目は、通話方式が「個別通話」を選択しているときに表示されます。
- [] の項目は、通話方式が「UC 通話」を選択しているときに表示されます。

機能設定モード

■ 設定モードの選択方法

- ① **機能ボタン**を押したまま、**電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れ、「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。
●「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。
- ② **機能ボタン**を押し、「セッテイモード 機能設定」が表示されたら、**選択ボタン**を押します。
●「パワー 送信出力 HI」または「パワー 送信出力 LOW」が点滅表示されます。
- ③ **選択ボタン**を押します。
- ④ **UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して項目を選択し、**選択ボタン**を押して決定します。
- ⑤ 以下の項目の設定値または設定内容を **UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して項目を選択し、**選択ボタン**を押して決定します。

※設定モードの選択方法の詳細は、「設定モードの選択方法」をご覧ください。

設定項目の選択・設定方法の詳細は、「設定項目の選択・設定方法」をご覧ください。

選択項目および表示例	選択内容	初期値
送信出力 パワー 送 信 出 力 HI	送信出力 HI ⇄ 送信出力 LOW (選択ボタン を押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 送信出力の設定を行います。	HI
内部マイク感度 マイクカンド 内 部 0.0dB	-9.0dB ⇄ -7.5dB ⇄ -6.0dB ⇄ -4.5dB ⇄ -3.0dB ⇄ -1.5dB ⇄ 0.0dB ⇄ +1.5dB ⇄ 3.0dB ⇄ 4.5dB ⇄ 6.0dB ⇄ 7.5dB ⇄ 9.0dB (選択ボタン を押す[点滅]、▲/▼で1.5づつ増減、 選択ボタン で決定) ● 無線機本体の内部マイクの感度を設定します。 ● マイクの感度は以下になります。 -9.0dB (低) ⇄ ... ⇄ 0.0dB (標準) ⇄ ... ⇄ +9.0dB (高)	

選択項目および表示例	選択内容	初期値
外部マイク感度 <div data-bbox="89 179 324 263" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> マイクカンド 外 部 0.0dB </div>	-9.0dB ⇄ -7.5dB ⇄ … ⇄ -1.5dB ⇄ 0.0dB ⇄ +1.5dB ⇄ … ⇄ +7.5dB ⇄ +9.0dB (選択ボタンを押す[点減]、▲/▼で1.5づつ増減、 選択ボタン で決定) ● 無線機に接続された外部マイクの感度を設定します。 ● マイクの感度は以下ようになります。 -9.0dB (低) ⇄ … ⇄ 0.0dB (標準) ⇄ … ⇄ +9.0dB (高)	0.0dB
マイクノイズキャンセル <div data-bbox="89 492 324 576" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> マイク ノイズキャンセル ON </div>	ON ⇄ OFF (選択ボタンを押す[点減]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 周囲の騒音を抑えて明瞭な音声を送信します。	ON
表示部輝度 <div data-bbox="89 666 324 751" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> LCD 輝 度 レ ベ ル 08 </div>	01 ⇄ 02 … 08 … 14 ⇄ 15 (選択ボタンを押す[点減]、▲/▼で1づつ増減、 選択ボタン で決定) ● 表示部のコントラストを調整します。	08
バッテリーセーブ <div data-bbox="89 841 324 926" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> バッテリー セーブ OFF </div>	OFF ⇄ ON (選択ボタンを押す[点減]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 「ON」を選択すると、バッテリーセーブが働き電池は長く持ちます。	OFF
ビープ音量 <div data-bbox="89 1009 324 1093" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ビープ 音 量 HI </div>	HI ⇄ LOW ⇄ OFF ⇄ (選択ボタンを押す[点減]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 「OFF」を選択すると、ビープ音は出なくなります。ここでのビープ音量の設定は呼出設定モードなどエマージェンシーを除く全てのビープ音に反映されます。	HI

選択項目および表示例	選択内容	初期値
バッテリー残量ビープ <div> ビープ バッテリー残量 ON </div>	ON⇄OFF (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● バッテリーの容量低下時にビープ音を鳴動します。	ON
送信ビープ <div> ビープ 送信ビープ OFF </div>	OFF⇄ON (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● PTT ボタンが押された時にビープ音を鳴動します。	OFF
受信ビープ <div> ビープ 受信ビープ OFF </div>	OFF⇄ON (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 受信時にビープ音を鳴動します。	OFF
上空チャンネル <div> ジョウクウCH OFF </div>	OFF⇄ON (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 上空用チャンネルをモニターすることができます。なお、このチャンネルで送信することはできません。	OFF
スキャン設定 <div> スキャン OFF </div>	OFF⇄ON (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● スキャン有効を設定したチャンネルを順番に受信し、信号を入感したチャンネルを自動的に受信することができます。 ● 呼出設定モードの通話方式が「UC通話」を選択されているときに表示されます。「個別通話」が選択されているときは表示されません。また、スキャン動作しません。	OFF
スキャン再開 <div> スキャンRX OFF </div>	OFF⇄ON (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1づつ増減、 選択ボタン で決定) ● 信号の入感が無くなった場合、スキャン再開動作の選択ができます(スキャンポーズ解除)。	OFF

選択項目および表示例	選択内容	初期値
初期化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ショキ方 <div style="text-align: right;">OFF</div> </div>	OFF↔ON (選択ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 選択ボタン で決定) ● 設定を工場出荷状態に初期化します。 ● 初期化を行うと、機能設定モードだけではなく、呼出設定モードも初期化されます。初期化を行う前には、呼出設定モードの各コードを予め控えておくことをお勧めします。	OFF

- の項目は、通話方式が「UC通話」を選択しているときに表示されます。

セット管理番号の確認

■ セット管理番号の確認方法

- ① **機能ボタン**を押したまま、**電源/音量ツマミ**を右(時計方向)に回し電源を入れ、「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。
●「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。
- ② **機能ボタン**を2回押し、「セッテイモード セット管理番号」が表示されたら、**選択ボタン**を押します。
●CSMコード番号が表示されます。
- ③ セット管理番号の確認を終えるには、**電源/音量ツマミ**を左(反時計方向)に回し電源を切ります。


通常運用での機能呼出

- ① **電源/音量ツマミ**を右(時計方向)に回し電源を入れます。
●通常運用となり、チャンネルが表示されます。
- ② **機能ボタン**を押します。
●「プレイバックデータ ナシ」または「プレイバックデータ アリ」が表示されます。
- ③ **UP (▲)** または **DOWN (▼) ボタン**を押して項目を選択し、**選択ボタン**を押して決定します。
- ④ 以下の項目の内容を**UP (▲)** または **DOWN (▼) ボタン**を押して項目を選択し、**選択ボタン**を押して決定します。

選択項目および表示例	機能内容および操作方法
プレイバック再生 <div>プレイバックデータ ナシ</div>	<p>■「プレイバックデータ ナシ」表示時：プレイバックデータ無し 選択ボタンを押す→「ブッ」音(無効ビープ音)</p> <p>■「プレイバックデータ アリ」表示時：プレイバックデータ有り 選択ボタンを押す→録音内容再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源を切ると、録音内容は消去されます。 ●機能ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。
ボイス再生 <div>ボイスサイセイ ナシ</div>	<p>モニターボタンを長押しして録音した相手局の音声(ボイス録音)を再生します。</p> <p>■「ボイスサイセイ ナシ」表示時：ボイス録音無し チャンネルセクターツマミを回す→機能無し 選択ボタンを押す→機能無し</p> <p>■「ボイスサイセイ XX」表示時：ボイス録音有り (XXはボイス録音の番号を示します。ボイス録音の番号は01～10です。) チャンネルセクターツマミを回す→ボイス録音番号切り替え 選択ボタンを押す→録音内容再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源を切っても、録音内容は消去されません。 ●機能ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。

選択項目および表示例	機能内容および操作方法
<p>ボイスメッセージ</p> <div data-bbox="89 179 324 263"> <p>ボイスメッセージ ナシ</p> </div>	<p>ボイス録音の内容を送信することができます。</p> <p>■「ボイスメッセージ ナシ」表示時：ボイス録音無し チャンネルセレクトータツマミを回す→機能無し 選択ボタンを押す→機能無し</p> <p>■「ボイスメッセージ XX」表示時：ボイス録音有り (XXはボイス録音の番号を示します。ボイス録音の番号は01～10です。) チャンネルセレクトータツマミを回す→ボイス録音番号切り替え 選択ボタンを押す→機能無し PTTボタンを押す→録音内容送信→チャンネル表示に戻る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切っても、録音内容は消去されません。 ● 機能ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。
<p>着信履歴</p> <div data-bbox="89 645 324 729"> <p>着信履歴</p> </div>	<p>着信履歴を表示できます。</p> <p>チャンネルセレクトータツマミを回す→着信履歴切り替え</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ると、着信履歴は消去されます。 ● 機能ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。
<p>発信履歴</p> <div data-bbox="89 800 324 885"> <p>発信履歴</p> </div>	<p>発信履歴を表示できます。</p> <p>チャンネルセレクトータツマミを回す→発信履歴切り替え</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ると、発信履歴は消去されます。 ● 機能ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。



選択項目および表示例	機能内容および操作方法
<p>ショートメッセージ送信</p> <div data-bbox="91 215 323 302"> <p>ショートメッセージTX</p> </div>	<p>予め設定されているショートメッセージを送信できます。</p> <p>1 回目選択ボタンを押す→ショートメッセージ01 表示 2 回目以降選択ボタンを押す→ショートメッセージ切り替え チャンネルセレクトータツマミを回す→ショートメッセージ切り替え PTT ボタンを押す→ショートメッセージ送信→チャンネル表示に戻る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予め設定されているショートメッセージは以下のようになります。 緊急事態デス 連絡クダサイ 急イデクダサイ 集合シテクダサイ 作業中デス 出発シマシタ 到着シマシタ 開始シマシタ 終了シマシタ 了解シマシタ ● 電源を切ったり、初期化しても、設定されているショートメッセージは消去されません。 ● 機能ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。
<p>ショートメッセージ履歴</p> <div data-bbox="91 943 323 1030"> <p>ショートメッセージリレキ</p> </div>	<p>ショートメッセージの着信履歴を表示できます。</p> <p>1 回目選択ボタンを押す→ショートメッセージの着信履歴01 表示 2 回目選択ボタンを押す→ショートメッセージの着信履歴切り替え チャンネルセレクトータツマミを回す→ショートメッセージの着信履歴切り替え</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ると、ショートメッセージ履歴は消去されます。 ● 機能ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。

-  の項目は、呼出設定モードにて通話方式が「個別通話」を選択しているときに表示されます。

その他の設定

通常運用時に設定を変更できます。

キーロックの設定方法

- ① **電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に回し、電源を入れます。
- ② **DOWN (▼) ボタン**を長押しします。
 - 「」(キーロックマーク)が表示され、キーロックが働きます。
 - 本体の**電源/音量ツマミ**および**PTT ボタン**は、キーロック中でも使用できます。また、**スキャン/エマージェンシーボタン**も使用可能です。
- ③ キーロックを解除するには、**DOWN (▼) ボタン**を長押しします。
 - 「」(キーロックマーク)が消え、キーロックが解除されます。

通話内容の録音（ボイス録音）

相手局との通話内容（受信内容）を録音することができます。

- ① **モニターボタン**を長押しします。
 - 通話内容の録音が始まります。
- ② 録音を停止するには、再度**モニターボタン**を長押しします。
 - 相手局の送信が停止した場合も録音を停止します。
 - ここで録音した内容は、ボイスサイセイとして、録音内容を確認できます。
 - ここで録音した内容は、ボイスメッセージとして、録音内容を送信することができます。
 - 録音は、最大10項目まで可能です。各項目の最長録音時間は約60秒です。

UC (ユーザーコード) の設定

呼出設定モードの通話方式にて「UC通話設定」が選択されている時、通常運用時でもUC設定が可能です。

- ① **選択ボタン**を1回押します。
 - UC (ユーザーコード) が表示されます。
- ② 再度、**選択ボタン**を押します。
 - UC (ユーザーコード) の一桁目が変更できるようになります。
 - **チャンネルセレクターツマミ**を回して、UC (ユーザーコード) の桁を移動できます。
- ③ **UP (▲)** または **DOWN (▼) ボタン**を押して数値を変更します。
 - UC (ユーザーコード) は、000 ～ 511 の設定が可能です。
 - 設定できないUC (ユーザーコード) を選択しても「ブツ」音がして設定できません。
- ④ UC (ユーザーコード) を決定するには、**選択ボタン**を押します。
- ⑤ 通常運用に戻るには、**機能ボタン**を押します。

秘話機能のオン・オフ設定

通常運用時での秘話機能のオンまたはオフを設定します。

- ① **選択ボタン**を1回押します。
 - UC (ユーザーコード) または相手局の個別コードが表示されます。
- ② **UP (▲) または DOWN (▼) ボタン**を押します。
 - 「秘話」と秘話の設定が表示されます。
- ③ **選択ボタン**を押します。
 - 秘話のオンとオフを切り替えることができますようになります。
- ④ **UP (▲) または DOWN (▼) ボタン**を押して、秘話の設定のオン (ON) とオフ (OFF) を切り替えます。
- ⑤ 秘話機能の設定を決定するには、**選択ボタン**を押します。
- ⑥ 通常運用に戻るには、**機能ボタン**を押します。

設定の初期化

設定した機能を初期化し、工場出荷状態に戻すことができます。

※ 機能設定モードでも同様の初期化ができます。

※ 全体初期化を行う前には、呼出設定モードの各コードを予め控えておくことをお勧めします。

- ① **電源/音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し、電源を切ります。
- ② **機能ボタン**と**選択ボタン**を押したまま、**電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に回し、電源を入れます。
- ③ 「SET 設定リセット」が表示されたら、**機能ボタン**と**選択ボタン**を離します。
 - 「SET 設定リセット」が表示される前に、各ボタンを離すと、通常運用になります。
- ④ 初期化するには、**選択ボタン**を押します。
 - 本機が初期化され、工場出荷状態に戻ります。
 - 初期化しない場合は、**電源/音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し、電源を切ってください。
- ⑤ 「SET 設定リセット」表示が点滅から点灯になることを確認します。
- ⑥ **電源/音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し、電源を切ります。

本体定格

■ 一般

使用周波数	351.2000MHz ~ 351.38125MHz 351.16875MHz ~ 351.19375MHz (受信のみ)
電波形式	F1C、F1D、F1E、F1F
通信方式	単信プレストーク方式
電源電圧	DC7.4V
発振方式	水晶発振により制御する周波数シンセサイザー方式
アンテナ	ヘリカルアンテナ
使用温度範囲	-20℃ ~ +60℃
寸法	幅 56mm 高さ 96mm 奥行き 49mm (電池含む、突起物含まず)
質量	約 350g (電池含む)

■ 送信部

送信出力	1W ~ 5W
周波数の偏差	± 1.5ppm以内
占有周波数帯幅	5.8kHz以内
スプリアス発射強度	2.5 μ W 以下
最大周波数偏移	± 1324Hz以下
変調方式	4値FSK

■ 受信部

受信方式	スーパーヘテロダイン方式
受信感度	-2dBuV以下 (BER1%)
低周波出力	0.4W以上 (16 Ω 負荷)
副次的に発する電波等の限度	4nW以下

故障とお考えになる前に

サービスを依頼される前に、ご面倒ですが次のことをお調べください。
下記項目を確認しても正常に動作しない場合は、お買い上げになった販売店またはCSRカスタマーサポートにご相談ください。

■電源が入らない

- 電池パックが消耗している。→電池パックを充電してください。
- 電池パックの接触不良。→電池パックの接続端子を乾いた布で拭いてください。

■電源がすぐ切れる

- 電池パックの接触不良 →電池パックの接続端子を乾いた布で拭いてください。
- 電池パックの寿命 →電池パックの寿命は、正常なご使用で約1年です。
- 十分に充電しても、電源が早く切れる時は、新しい電池パックにお取り替えください。

■送信できない

- 送信時、「ブツ」というピープ音がする。→回線が使用されている状態です。しばらく待ってから再度送信してください。または、チャンネルを変更してください。

■受信できない

- 電池パックが消耗している。→電池パックを充電してください。
- 音が小さくて聞こえない。→音量を調整してください。

■自局または相手の電波が届かない。

- アンテナが外れている、または緩んでいる。→アンテナをきちんと取り付けてください。
- 地下またはトンネル内である。→外に出てから交信してください。

保証・アフターサービス

■【保証書（別添）】

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■【保証期間】

保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

■【保証用性能部品の最低保有期限】

弊社はこの本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■【修理に関する相談窓口】

修理に関するご相談ならびに不明な点はお買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

CSRカスタマーサポート



0120-973-698

e-mail : wavecsr_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間 9:00 ～ 17:00（土日祝日を除く）

修理を依頼されるときは

「故障とお考えになる前に」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

お願い

- 修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願い致します。また、本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■【保証期間中は】

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■【保証期間が過ぎているときは】

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。修理をご依頼のときは、製品名、製造番号、お買い上げ日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号をお知らせください。

■【修理料金の仕組み】（有料修理の場合は次の料金が必要です）

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理及び付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、測定器など設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

株式会社CSR

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

<http://www.kcsr.co.jp/>

CSRカスタマーサポート



0120-973-698

e-mail : wavcsr_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

(土日祝日を除く)

お問い合わせは、販売店あるいはCSR カスタマーサポートで承っております。